



塑造寿円禅師坐像
(そどうじゅえんぜんじごどう)

秋吉里の自往寺を禅寺として開いた寿円禅師の坐像は、円頂(えんちよう)、衲衣(のうえ)をつけ袈裟をかけ、禅定印を結び、衣のすそや袖を前にたらしめて座る頂層形式の肖像である。

寿円禅師は正平9年(1354年)、夏の干ばつにあたり、広谷の滝穴(現秋芳洞)に入り雨乞いの修法を行い、願いがかなうと洞内から流れ出る濁流に身を投じた。村の人たちは「雨乞開山」とその高德を記念し、遺体を火葬にしてその遺灰でこの像を作ったとの所伝がある。

奈良時代に盛んに作られた塑像が、鎌倉時代以降の一時に復活した数少ない作例の1つとして貴重な作とされている。また作風から南北朝時代の製作と推定されている。

なお、昭和43年に保存修理され、現在は秋芳洞入口に開山堂が造られ、ここに安置されている。

表紙の説明



秋吉台地域エコツーリズム協会が 第4回エコツーリズム大賞特別賞を受賞

日本最大のカルスト台地を誇る秋吉台地域の資源を活用し、自然科学や文化などについて深い知識を持った人が集まり、環境保全活動や自然修復事業を行うなど地元資源の活用と保全をいっつ、エコツアーを精力的に実施していることが評価され、秋吉台地域エコツーリズム協会が環境省の第4回エコツーリズム大賞特別賞を受賞されました。

12月15日、美禰市役所で伝達式が行われ、秋吉台エコツーリズム協会の庫本会長に村田市長から表彰状が手渡されました。

秋吉台地域エコツーリズム協会は秋吉台を中心に地域の自然や歴史、文化をテーマにしたエコツアーを開催しています。

表紙はエコツアーで秋吉台を散策している写真です。

編集後記

少し遅くなりましたが、明けましておめでとございませう。

今年の干支は「丑(うし)」ですね。牛といえば、草原で草を食べるのんびりとしたイメージがあります。ことわざにも「牛歩」など歩みの遅いことを例えたものもあります。ほかにも「牛の歩みも千里」などがあります。

今年は牛を見習い、歩みは遅くても、目標に向かって着実に進んでいける一年にしたいものです。(の)

美禰市内の交通事故発生状況

()内は県下総数

	人身事故			物損事故
	件数	死者	傷者	
12月中	12 (726)	0 (7)	17 (884)	60 (3681)
累計	120 (8118)	4 (91)	145 (9976)	732 (38933)
昨年対比	-5 (-821)	-1 (-24)	-21 (-975)	+8 (-518)